

会館だより

賀年
謹新

新年明けましておめでとございます。
今年も館生の皆様が、楽しく充実した会館生活を送ることができるよう、職員一同一生懸命努力して参りますので、よろしくお願い致します。
昨年の大きな話題といえば、ラグビーワールドカップ！日本選手の勇猛果敢な姿勢は日本人の魂を揺さぶり、まさに日本中が「ONM「HEART」になったときでしたね。
そしてホスト国としての「おもてなし」に象徴される日本流のホスピタリティは世界各国の選手やファンを虜にし、日本の魅力を世界に発信することができたことも印象的でした。

そして今年は何といっても2020年東京オリンピック開催。
ラグビーワールドカップの成功からの流れで、世の中大いに盛り上がることでしようね
札幌でもマラソン・競歩が開催されることになりましたので札幌・北海道にとっても世界中に力できる良い機会になったと思います。
選手の皆さんはオリンピックに出ること自体が凄いことですが、本番ではベストな状態で、今までのトレーニングの成果が出せることを願っています。
さて、今年もそろそろ卒業等で退館する館生や新たに入学等で入館する館生の受け入れが始まりだし、嬉しくもあり寂しくもある時期を迎えますが、特に新入館生や保護者様にとりましては学校や会

館・札幌での新生活に期待と不安が入り混じっている頃かと思いますが、我々職員一同入館生の皆様が充実した毎日を過ごせるよう一生懸命サポートいたしますのでどうぞ安心して会館に飛び込んできてください。
今年2020年は「子年」。子年は繁栄の年ともいわれていますね。経済・子孫がどんな繁栄してほしいですね。そういえばポケモンのピカチュウもネズミですね。(笑)
どうぞ、今年も皆様が健康で良い年でありますように。



令和二年一月
館長 石田 信一
職員一同



No.78
発行年月日
2020年1月吉日
北海道女子学生会館



編集者
より
ひとこと

会館では、会館ホームページやFacebookで、日常風景・会館イベント情報などを発信しております。是非、ご覧ください。

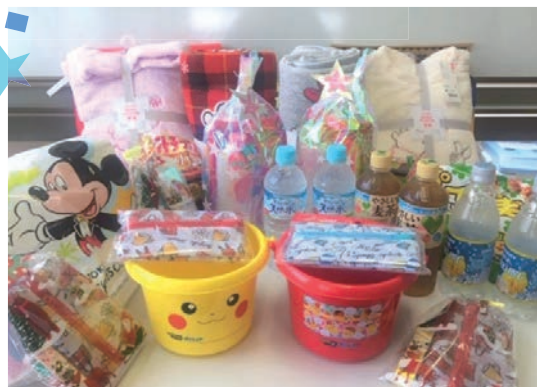
<http://www.hokkaido-nadeshiko.jp>

〒060-0021
札幌市中央区北21条西15丁目
tel 011-736-8111



2019年クリスマスパーティー

毎年恒例♡トイシアターのショーとビンゴゲームで大盛況♡



私たちの会館生活

会館の魅力

武蔵女子短期大学

一年 沼田 真奈佳



私は大学進学を機にこの会館へ入館しました。入館当初は初めて親元を離れての生活だったこともあり不安がありました。が、会館はホームシックにならないくらいリラックスできる良い場所です。



会館での充実した生活

札幌北高校

一年 伊勢谷 莉子

私は、札幌北高校への進学を機にこの北海道女子学生会館に入館することを決めました。

会館での一日目は、「これから一人でちゃんとやるかな、生活リズムが乱れ

そこで、私が思う会館の魅力は二つあります。

まず、一つ目は健康的な食事を頂けることです。

栄養豊富な食事で体調管理を整えることができます。

また、土日、祝日も頂けるので本当にありがたいです。

夕食は肉料理と魚料理から食べたい方を選ぶことができます。

私は魚派なのでこの方式は嬉しく思っています。

がどれもおいしいので迷ってしまいます。

さらに、バラエティ豊かなメニューで全く飽きないので毎日の食事が楽しみになっています。

そして果物も出るので不足しがちなビタミンを取ることで、風邪予防になっ

ると感じています。

また、月に一度のバイキングもあります。

季節を感じながら友人と頂くご飯はとても美味しいです。

デザートにはミニケーキもでるので甘いものが好きな私は嬉しいです。

二つ目は、立地です。

会館から私が通う武蔵女子短大までは徒歩約七分ほどです。

大学に近いことにも魅力を感じています。

もし、忘れ物をしても取りに帰れま

すし、すぐ近くにはスーパーもあるので便利です。

さらに、徒歩圏内にクリニックビルがあり、内科、歯科、耳鼻科、眼科等が入っているので安心です。

ないかな、一人でご飯を食べるの寂しいな」など、たくさん不安なことがありました。

しかし、その不安な気持ちは数日でなくなりました。

その理由の一つ目は会館の食事や掃除などがしっかりしていることです。

食事は朝晩栄養バランスよく取ることが出来ます。

また、廊下やトイレ、お風呂などの共用部分は毎日清掃してくださ

るので私たちは気持ちよく生活することができていま

す。これらのことは一人暮らしをするとなると自分でやらなければならぬことなのでそれに比べると負担が

とても少なくなっています。

二つ目の理由は、新入館生の説明会を機に友達がたくさんできた事です。

私と同年の子私より年上の子、留学生の子などたくさんの人と仲良くなることができまし

た。その友達と勉強を教えあったり一緒にご飯を食べ

たり、遊びに行ったりとても楽しく過ごしています。

会館にはいろいろな地方から人が集まるのでそれぞれの地

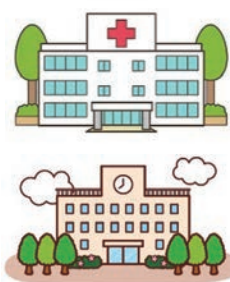
元の話を聞くと北海道出身の私も知らないことがあ

たり、本州出身の子の話はなおさら知らないことばかり

でとても面白いです。



初めは不安が多かった会館での生活も、今は毎日が楽しく、充実しています。このような生活ができているのも、館長さん、スタッフの方々、友達みんな、両親のおかげです。たくさんの人からの支えがあつてこそなりたっている生活である事に感謝の気持ちをもってこれからの学生会館の生活を送っていききたいと思っています。



以上の二つが会館の魅力であると思う点です。私は会館を見学させていただき入館することを決めました。最初は会館生活になれるか不安はありましたが、職員の方々や家族、友人のサポートのおかげで安心して生活を送ることができています。これからも支えてくれている方々に日々感謝をし、一日一日を大切に有意義な学生生活を送りたいです。

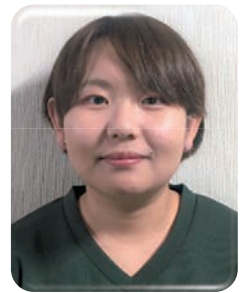


わたしのふるさと

故郷・釧路市

北海道芸術デザイン専門学校

一年 高橋 美宇



私は釧路市という札幌からバスで約五・六時間掛かる遠い街からこの会館へ来ました。

釧路市は夕日が有名で、インドネシアのバリ島、フィリピンのマニラに次いで世界三

大夕日に指定されています。

しかも一九六五年には既に制定されていたそう、調べたところによると戦争の復興後、海外からの船も寄港するようになりその際に船乗りの間で「釧路の夕日は美しい」と話題になったのがきっかけだそうです。

地元民から見ても釧路のあの真っ赤な夕日はとても美しいので、機会がありましたら是非釧路に遊びに来てみてください。

他にも釧路では「霧の街」とも言われており、霧の発生が日本一でも有名です。また、日本のロンドンとも呼

ばれており、釧路の霧はとても幻想的で時にはゲームの映像に出てきそうなくらい霧がすごい時もあります。

本当に霧が濃く時は少し先が全く見えないという状況もあり、交通面では危険というのが少しもったいなく感じます。

しかし、私はこの釧路の霧がとても好きです。

日本にいながらも、どこか異国や異世界を連想させるので散歩をする際、とても楽しい気持ちになります。もし、海外に行きたいけれど金銭面で厳しい、でも幻想的な世界を堪能したい方がいれば、

釧路に行くのも良いかもしれません。

私の出身地は宮城ですが、釧路で育つてよかったと思います。釧路にはまだここには書ききれない程の自然や動物など多くの魅力がありますので是非一度、釧路に訪れてみてはいかがでしょうか。



東京から北海道へ

北海道大学

一年 足立 華蓮



私は東京の中学、高校に通っていました。

東京と聞くと都会という印象を持っているかもしれませんが、東京であればどこでも都会というわけではありません。私は家から歩ける距離の高校

に通っていたため、毎日満員電車に乗って登校していたわけではありませんし、家の周りには小さな公園がたくさんあるような場所でした。昔からある商店街もあってそこでは年に一度サンバカーニバルというお祭りがあります。そんなところですが、都会過ぎず電車にのればどこにでも行ける住みやすい街です。

私は自然が豊かなところに惹かれて大学は北海道に決めました。

初めて親元を離れて知り合いが一人もない土地で生活することに不安な気持ちでいっぱいでした。しかしすぐに、会

館での生活には慣れ、友達もできて不安な気持ちはなくなりました。今では一番不安だった会館の食事はおいしくて大好きです。

一人暮らしをすると不足しがちな野菜や魚がたべられ、なにより学校から帰ると温かな食事を友達と一緒にたべられることが、とても幸せです。

東京と北海道で一番違う事はやはり気候だと思っています。

気候が違うので当然植物の色が変わる時期も違い、寒い季節が長いので春に緑が増えたときは嬉しかったです。東京にももちろん自然はありますが、北海道の壮大な景色には

いつも感動します。

また、私の部屋は東向きなので朝日が気持ちよく夜は札幌方面の夜景がきれいです。西側にある洗面所から見える山や川、夕日が美しく見飽きません。東京にも多くの店があったりしますが、私はここでの生活がとても気に入っています。



ジンギスカンパーティー

会館では毎年五月と九月に外でジンギスカンパーティーを実施しています。お友達同士でワイワイ食べるジンギスカンはまた、格別です！



国際情報高校生として

私は幼い頃から英語を習っていたので英語が得意で好きでした。それがきっかけで外国のことに興味があり、オホーツクの美幌町という小さな町から、語学力などの国際社会で活躍できる力を高めたいと思い、国際情報高校に入学しました。特に私が通っている国際文化科は女子が多くみんな個性豊かで毎日が充実しています。

さらにホームルームでは他学科の友人と仲良くなれて自分で学んでいること以外の知識が得られて面白いです。

私は英語部に所属していて五月に参加したプレゼンテーションコンテストでは先輩や仲間と協力して優勝しました。その際同じチームだった先輩方はチームの代表としての200の舞台に立ちました。また、九月には「世界津波の日高校生サミット」に参加する機会を得ました。

世界四三カ国から高校生が集まり津波など災害について英語でディスカッションしたことをとおして災害への意識を高められた上、海外の学生との交流から様々なことを学べて本当に良い経験でした。そして最近最も力を注いだのはディベートです。英語部は全国への切符を手にしたチームでもあり、これを通して私たちは確実にレベルアップしたと言えると思います。これらの経験は努力しこの学校に入学しなければできなかったことです。

でも、それらの中で悩んだり苦しんだりすることはたくさんありました。それを乗り越えられたのは、私と同じように強い思いを持って地方から札幌に進学してきた会館の仲間たちの励ましや親のかわりに優しく気遣って下さる会館の方のおかげだと思っています。何よりも札幌という新天地での生活は何もかもが新鮮で楽しい反面親のありがたみというものに改めて気づかれます。だからこれからも毎日後悔せぬようすごしていきたいと思っています。

札幌国際情報高校

一年 鈴木 茉希



恒例のフルーツ狩りと小樽散策★楽しいひと時を過ごしました。



天候はぎりぎりでしたが、リンゴにブドウ旬のフルーツを頂きました。



次回もお楽しみに!



★会館のHPとFacebookもご覧ください★
『<http://www.hokkaido-nadeshiko.jp>』で検索!